

## (5) 在職年数の算定方法及び実務成績証明書について

在職年数を利用して、教育職員免許状を申請する際には実務成績証明書の提出が必要となります。(免許法附則18項に基づく申請を除く。) その際、必要となる在職年数分の実務成績証明書の提出が必要となりますので、複数校にまたがって勤務している場合は、それぞれの勤務校から徴求してください。

実務成績証明書に記入する期間については、全任用期間を記入する必要はありません。必要となる在職年数を充足するように記入してください。

### 1 在職年数の算定方法について

在職期間は365日を以って1年と算定します。年度途中で任用期間が終了している場合は1年と算定しません。

なお、非常勤講師としての任用については、算定方法が異なります。別途、お問い合わせください。

(例1) 4月1日から3月31日の任用の場合・・・1年

4月6日から3月20日の任用の場合・・・11ヶ月と15日

### (例2) 3年の在職年数が必要な場合

勤務校	勤務歴
A校	H25. 4. 6 ~ H26. 7. 21
B校	H26. 4. 6 ~ H27. 3. 21
C校	H27. 4. 6 ~ H28. 7. 21
D校	H28. 4. 6 ~ H29. 3. 21
E校	H29. 4. 6 ~ H30. 3. 21
F校	H30. 4. 6 ~ H31. 3. 21

A、B、C校の在職年数では3年に満たないため、A、B、C、D校の実務成績証明書(計4校分)が必要

2 実務成績証明書の記入例について

記入例 1 - 1

★現勤務校の証明については、申請日現在までの実務について証明すること。

特別支援学校の場合は備考に学部を記入すること。  
(例)小等部2年担任

様式第3号(第3条)

実務成績証明書 (教科についての教育成績に関する証明を含む。)						
勤務校	B 市立 B小学校			氏名	免許 花子	
休職期間 (育休等含む)	平成 17年 4月 1日から 平成17年 6月 30日まで 平成 17年 7月 1日から 平成19年 3月 31日まで					
勤務の 内容	年度	期 間	職 名	教 科	週授業時数	備 考
	15	自H15. 4. 1 至 H16. 3. 31	教諭	中学校(中等部)高等学校(高等部)の場合は記入	15	初任者研修
	16	自H16. 4. 1 至H17. 3. 31	〃		28	1年担任
	17	自H17. 4. 1 至H18. 3. 31	〃		0	産休、育休
	18	自H18. 4. 1 至H19. 3. 31	〃	極端に時間数が減少している場合はその理由を記入	0	育休
	19	自H19. 4. 1 至H20. 3. 31	〃		28	1年担任
	20	自H20. 4. 1 至H21. 3. 31	〃		26	〃
	21	自H21. 4. 1 至H21. 11. 30	〃	証明日より以前の日付となる	26	2年担任
	合計	4 年 8 月 (休職期間等を除算した勤務期間の実年月数)				
※1 教科に関する 所 見	熱心に研究に励み、向上心が見られる。児童一人一人に合わせたきめ細かい指導を行っている。又国語科を中心にテーマ研究に取り組み、学習指導についても優れた実績をあげている。					
学校で記入してもらう 勤 務 成 績	服務態度は非常に良好であり、担任として1,2学年を担当し、学級経営でも実績をあげ、児童だけでなく保護者の信頼も厚い。又校内においても積極的に校務を遂行するとともに参画意識が高く、他の教職員達とも良く連携してよい成果をもたらしている。					
上記のとおり良好な成績で勤務したことを副申する。 平成 21 年 11 月 30 日 所 属 長 B市立B小学校長				証明日時点での所属長名 教育 太郎 印		
上記のとおり証明する。 平成 21 年 12 月 12 日 実務証明責任者				県立学校は空欄とする B市教育委員会 印 教育長印ではないこと		

教科に関する所見、勤務成績は単に「良好」等ではなく具体的かつ詳細に記入すること  
※1 養護教諭、栄養教諭申請者は「教科に関する所見」の記入は不要である  
但し栄養教諭申請者で特別非常勤講師の経験については記入すること

★常勤講師の在職年数

4月6日から3月20日の任用の場合は11ヶ月

4月1日から3月31日の任用の場合は1年と考えます

※非常勤講師の在職年数の計算方法は異なります

様式第3号 (第3条)

実務成績証明書 (教科についての教育成績に関する証明を含む。)						
勤務校	A 市立 A小学校			氏名	免許 花子	
休職期間 (育休等含む)	年	月	日から	年	月	日まで
	年	月	日から	年	月	日まで
勤務の 内容	年度	期 間	職 名	教 科	週授業時数	備 考
	7	自H 7. 4. 6 至H 8. 3. 20	常勤講師		20	1年副担任
	8	自H 8. 4. 6 至H 9. 3. 20	〃		20	〃
	9	自H 9. 4. 6 至H 10. 3. 20	〃		19	〃
	10	自H 10. 4. 6 至H 11. 3. 20	〃		20	〃
	11	自H 11. 4. 6 至H 12. 3. 20	〃		20	1年担任
	12	自H 12. 4. 6 至H 13. 3. 20	〃		20	〃
	13	自H 13. 4. 6 至H 14. 3. 20	〃		20	〃
	14	自H 14. 4. 6 至H 15. 3. 20	〃		20	〃
合 計	7 年 4 月 (休職期間等を除算した勤務期間の実年月数)					
教科に関する見	事前に教材研究に取り組み、学習準備と周到に行い、授業内容について良く研究し実践した。児童への指導も丁寧で学力向上を目標に学級経営にも熱心に取り組んだ。					
学校で記入してもらう 勤務成績	担当する学年担任と協力しながら学力向上や生活指導に真摯に取り組んだ。学校行事についても積極的に校務に参画して他の教職員ともよく連携した。教育公務員を目指して社会常識も兼ね備えながら常に使命感を持って向上心を忘れず業務に従事した。					
上記のとおり良好な成績で勤務したことを副申する。 平成 21 年 11 月 10 日 所 属 長 A市立A小学校長				証明日時点での所属長名 福岡 一郎 印		
上記のとおり証明する。 平成 21 年 11 月 30 日 実務証明責任者				県立学校は空欄とする 教育長印ではないこと A市教育委員会 印		

★常勤講師の在職年数の合計

4月6日から3月20日の任用分が8年あるので 11月×8年=88月

88月÷12=7年と4月 (※)

(※) 7×12=84月 88-84=4月